

新たなエネルギー・・・藤原から土呂部へ

しかはま自然観察会のらえもん

代表 古高 利男

令和になってから、大きな気候変動や自然災害が何度も襲来した。昨年は、7月の猛暑の後に雨が続き、10月には3度の台風に見舞われた。その後は暖冬で山には雪が無く、年明けからは新型コロナウイルスによる世界全体への感染拡大である。

そんな状況の中においても、株価の上下で一喜一憂するニュースは「どこか、狂っている」と脳裏をかすめてしまう。「もっと大切にしなければならないもの、持続する未来を考えなければならないこと」があるのではないか。「100人の医師より、1本の灌漑用水路。病気の後ろに貧困があるのだ。」といいながら殺害された中村哲さんの言葉を、共有しなければならないのではないか。

活動19年目を迎えた今年度は、サケの受精卵入手困難とコロナ予防のために梅見物を中止し、全部で13回の活動を実施した。参加者は、のべ349人であった。

活動に大きな変化が生まれてきた。

これまで①田んぼ体験活動②里山体験活動③鹿浜地域での活動をすすめてきた。その中で、みなかみ町藤原を中心とした里山体験活動を、日光市土呂部を中心とした活動に重点を移していくことがはっきりしてきた。

藤原地域で10年以上にわたり古民家キャンプ・雨呼山登山・上ノ原の野焼き見学・奈良俣ダム見学・雪遊び・かまくらづくりなどを実施してきた。

それらを続けてこられたのは、森林塾青水の前代表である清水英毅様が丁寧に案内してくれたおかげである。そのため、点と線を面にまで活動を広げることができ、民宿関ヶ原や阿部様のご協力を得ることができた。

特に、古民家を利用できるようになってからは、弓矢づくり・草木染め・ホタル鑑賞・体育館での親子レクリエーションなどと活動の巾が広がってきた。そして、ストーブの暖かみは、心を和ませ話しを饒舌にし、食事を美味しくしてくれたのだった。

古民家から歩いて2～3分のところにある町の体育館利用は、夜間の活動に最適だった。大縄跳び・ドッチボール・バトミントンなどをし、普段見られない我が子の一面を観察することができたのだ。真っ暗な帰り道には、田んぼで幻想的に光るホタル鑑賞を心ゆくまでした。その頭上では、天の川が見守ってくれていた。

就寝間近の囲炉裏の回りで語り合う反省会は、なによりも至福の時であった。

のらえもん大家族の光景を生み出すことができる場になりつつあった。子どもたちは古民家を中心とした環境を仲立ちとして、年齢の差と学校間の壁を越え、みんなが仲間になり輝いていた。そんな子どもたちの様子に接しながら、親たちも仲間になっていった

この古民家を管理しているのは、NPO 奥利根源流ネットワークである。利用する場合は事前に連絡し、終了後はお礼とともに改善点などを記入して投函してきた。

古民家キャンプは、4年間で6回実施してきた。4月の連休と7月の夏キャンプである。

その度に古民家の整理・清掃・修理をしてきたが、その積み重ねと充実感がまったく生まれてこないのである。行く度にゼロからの繰り返しであった。積み重ねができないことへのいらだちと疲労感が溜まってきたのである。

宿泊するのは、のらえもんぐらいだった。着いたら掃除・片付けをし、帰りにはきれいにさっぱりとしておいた。次回に行ってみると、居間には荷物が積まれ、土間には廃油の一斗缶が山積しているのである。これには、疲れがどっと出てきた。壁の一部は、薄いシートだけで何年も経過しているのだ。

そんな中、2017年の2月下旬、土呂部の「里山の恵」ツアーに初めて参加した。イタヤカエデの太く固い幹から真っ白な樹液が溢れ出る様子は、感動的だった。本では知っていた樹液を、初めてこの目で見たのである。翌日は、日光茅ボッチの会代表の飯村孝文様に、茅場を再生している里山に案内してもらった。6月には、キャンプ場に泊まり、ワラビ採りツアーにも参加した。

限界集落と言われる盆地のような所に、清流・キャンプ場・釣り堀・茅場と山菜に雪遊びのできる里山・ゲンジボタルの棲息・メイプルシロップ作りに挑戦する人々、そして近くに温泉があり、首都圏から近いことも魅力の一つだった。

2018年度から2回の夏キャンプ体験を実施し、「次年度からこの土呂部を中心に里山体験活動を始めよう」と、思い至ったのである。特にキャンプ場は、トンボがごっそりと舞い開放感に満ちており諸設備は利用し易く、家族ごとにアウトドアライフを追求できるのだった。

参加者がいるから、活動を続けられる。続けて行くからこそ、新しいアイデアが湧いてくる。新しいアイデアは変化のエネルギーとなり、それは新しい視線や価値観に気づかせてくれる。藤原から土呂部への場所換えは、その流れに沿ったものなのだ。そうして、土呂部での活動は、鬼怒川・川治・川俣などの周辺のフィールドを生かしたものになるだろう。

藤原の活動があったからこそ、土呂部での活動が見えてきた。藤原ではたくさんの方々にご協力をいただいた。その感謝を、土呂部で生かしていきたいと思う。

のらえもんは、次年度20周年という節目になる。会員や子どもたちの減少・スタッフの高齢化などの問題をかかえながらも、内容の充実を目差しながら走り続ける覚悟である。

活動の持続こそ、次への展望を開いてくれるであろう。

最後になりましたが、本年度の活動を支えてくださったたくさんの方々に深く感謝申し上げます。すべての会員の皆様や賛同者の皆様はもちろんのこと、篆刻でお世話になった下村庸三様、ハゼ釣りでお世話になった福藤恭司様、日光茅ボッチの会代表の飯村孝文様、田んぼ体験でお世話になった宅間農園様、篆刻や押し花遊びの会場を提供してくれた鹿浜五色桜小の皆様、ありがとうございました。

また、足立区およびゆめ基金より助成金をいただき、活動の力強い推進力になりましたことを報告させていただきます。

2019年度 活動報告一覧

回	実施日	活動内容	場所	参加者
1	4月 6 (土) 11時～15時	春の生き物観察と桜見物 カブトムシの幼虫配布 新入生紹介 青空の下で遊ぼう 昼食持参	都市農業公園	大 17 中 1 小 9 幼 3 計 30
2	4月27～29日 2泊3日	古民家宿泊体験 早春の里山散策 雨呼山縦走 野焼き見学 春の星空観察	みなかみ町 藤原 現地集合 森林塾青水と 連携	大 10 小 5 幼 1 計 16
3	5月12 (日)	田植え体験 10回目 イチゴ狩り カイコの卵配布と紙芝居 ビール工場見学	宅間農園 アサヒビール 守谷工場 バス利用	大 45 中 1 小 23 幼 5 計 74
4	6月22 (土)	篆刻と化石探し 講師：下村 庸三	鹿浜五色桜小 図工室	大 10 小 7 計 17
5	7月13～15日 2泊3日	キャンプ体験 10回目 ホテル鑑賞 魚つかみ、 キャンプファイヤー、 里山散策	土呂部キャン プ場（ドロブ ックル）	大 16 小 6 幼 1 計 23
6	8月31 (土)	バゼを釣ろう 潮の満ち引き観察 講師：福藤 恭司	都市農業公園 荒川河川敷	大 13 小 9 幼 1 計 23
7	9月 8 (日)	稲刈り体験 9回目 田んぼ遊び、 虫取り ビール工場見学	宅間農園 麒麟ビール 取手工場 バス利用	大 29 小 12 幼 4 計 45

8	10月19～20日 1泊2日	藤原奈良俣ダムと上ノ原、そして谷川岳の紅葉散策 関ヶ原の女将さんに感謝 上ノ原の茅狩り見学	藤原、谷川岳 宿泊：関ヶ原 バス利用	大 17 高 1 中 1 小 4 幼 1 計 24
**	11月9（土） 11時30分～ 12時30分	新米の販売 田んぼに感謝を込めて 販売者：宅間農園 合計 517, 4kg	いきいき館の 駐車場	協力者 会員31
9	11月9（土） 13時30分～ 15時30分	クズの蔓で カゴづくりに挑戦 3回目	荒川河川敷	大 6 小 4 幼 2 計 12
10	12月21（土） 13時30分～ 16時30分	しめ縄づくり 稲刈りのわらを使って 忘年会	鹿浜いきいき 館 山口宅	大 14 中 1 小 7 幼 1 計 23
11	1月25～26日 1泊2日	スキー体験12回目 ・ スノボに挑戦 ・ 冬の良さに気づこう ・ 夜の交流会 講師：道斉 強	菅平ダボスス キー場 菅平プリンス ホテル バス利用	大 18 学 1 中 2 小 10 幼 2 計 33
12	2月 8（土） 14時～16時	押し花遊び 3回目 どんな葉ができるかな？ どんな押し花アートができる かな？	鹿浜五色桜小 図工室	大 13 小 7 幼 2 計 22
13	2月22～23日 1泊2日	土呂部のごちそう 4回目 雪の里山体験 かんじき体験、ソリ遊び メイプルウォーター採取 日光茅ボッチの会と連携	日光市栗山町 土呂部 民宿：水芭蕉	大 5 小 2 計 7

14回目は、新型コロナウイルス感染拡大のため、実施できませんでした。 予定：3月1日（日）	梅見物と早春の生き物観察 子どもたちと遊ぼう	都市農業公園 荒川河川敷	中止
--	---------------------------	-----------------	----

参加者合計 大 人 2 1 3

大学生 1

高校生 1

中学生 6

小学生 1 0 5

幼 児 2 3

合 計 3 4 9

* 生物教材の配布

次のような生物教材を、希望する小学校・保育園・幼稚園に配布しました。

○ カブト虫の幼虫

○ カイコの卵

○ サケの受精卵（本年度は、サケ遡上激減のため、受精卵を入手できませんでした）

* のらえもん出前授業

次のような内容で、希望校に出前授業しました。

○ 草木染め . . . 1 園

○ しめ縄づくり . . . 2 園、1 館